



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子

TEL 06-6203-1407

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	265,203	△5.6	22,325	△17.5	21,961	△16.2	10,273	△30.5
23年3月期第3四半期	280,805	37.8	27,064	△15.4	26,193	△17.6	14,788	△30.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △833百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △7,887百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	25.86	—
23年3月期第3四半期	37.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	554,184	315,997	57.0
23年3月期	589,868	323,983	54.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 315,997百万円 23年3月期 323,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,000	△7.2	22,000	△28.9	22,000	△23.1	10,000	△40.5	25.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は【添付資料】P.4「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	397,900,154 株	23年3月期	397,900,154 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	588,386 株	23年3月期	587,168 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	397,312,225 株	23年3月期3Q	397,314,779 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※当社は、機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを2月3日に開催する予定です。このカンファレンスコールで配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、画期的新薬創出の停滞や新薬開発コスト増大に加え、承認審査の厳格化や抜本的な医療制度改革が世界的に進むなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、「国内収益構造の変革」、「海外事業の拡大と収益最大化」、「将来の成長のためのパイプラインの強化」を本年度の最重点課題として掲げ、事業活動を展開しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、円高の影響等により2,652億3百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。費用面では研究開発費が減少しましたが、米国におけるマーケティング費用等により販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は223億25百万円（前年同四半期比17.5%減）、経常利益は219億61百万円（前年同四半期比16.2%減）となりました。また、旧東京事業所の土地等の固定資産売却益を特別利益に、特許権の一部にかかる減損損失と営業体制の見直しに伴う事業構造改善費用を特別損失に計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は196億4百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。なお、改正法人税法等の公布に伴う見積実効税率の見直しにより、四半期純利益は102億73百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。

当連結会計年度から、マーケット毎の医薬品事業の業績管理を一層強化することを目的に、報告セグメントの区分見直しを行っております。セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため各セグメントに配分しておりません。

①日本

当社の国内医薬品事業を中心とする業績であります。戦略品である高血圧症治療剤「アバプロ」、非定型抗精神病薬「ロナセン」、末梢循環改善剤「プロレナール」や、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」、肝細胞がん治療剤「ミリブラ」、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」等の新製品に営業資源を集中し、売上高の増加に注力するとともに、ローコスト経営の徹底等、継続的な経営効率の追求による利益の拡大に積極的に取り組みました。しかしながら、前期に実施した成長ホルモン事業譲渡の影響等もあり、売上高は1,391億33百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益は544億76百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

②北米

サノビオン・ファーマシューティカルズ・インクを中心とする米国子会社および当社の北米事業の業績であります。当社のグローバル戦略品である非定型抗精神病薬「ラツダ」の早期の市場浸透・販売拡大に注力するとともに、催眠鎮静剤「ルネスタ」等の既存品にも積極的なプロモーション活動を行いました。売上高につきましては、現地通貨ベースでは前年同四半期とほぼ同水準であったものの円高の影響を受けたこと等により797億51百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。セグメント損益は「ラツダ」関連の費用が増加したことにより、1億91百万円の損失（前年同四半期は80億45百万円の利益）となりました。

③中国

住友製薬（蘇州）有限公司および当社の中国事業の業績であります。カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」（現地販売名「美平」）の販売等により、売上高は47億75百万円（前年同四半期比12.7%増）となりましたが、販売費および一般管理費が増加したこと等によりセグメント利益は9億16百万円（前年同四半期比36.0%減）となりました。

④海外その他

当社から北米および中国以外への輸出等の取引高で、売上高は112億89百万円（前年同四半期比17.2%減）、セグメント利益は53億22百万円（前年同四半期比26.8%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は302億53百万円（前年同四半期比12.6%減）、セグメント利益は24億79百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産については、特許権やのれん等の無形固定資産の償却等により、総資産は前連結会計年度末に比べ356億84百万円減少し、5,541億84百万円となりました。

負債については、有利子負債が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ276億98百万円減少し、2,381億86百万円となりました。

純資産については、利益剰余金は増加しましたが、円高による為替換算調整勘定の変動により、前連結会計年度末に比べ79億85百万円減少し、3,159億97百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年10月31日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成24年3月期通期連結業績予想の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想（A）	352,000	20,000	19,000	12,000	30円20銭
今回発表予想（B）	352,000	22,000	22,000	10,000	25円17銭
増減額（B－A）	—	2,000	3,000	△2,000	
増減率（％）	—	10.0	15.8	△16.7	
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	379,513	30,951	28,616	16,796	42円27銭

売上高は、前回発表予想時の想定どおりに進捗しておりますので今回修正をしておりません。

売上原価、販売費及び一般管理費については、さらなる経営効率の追求に継続して取り組み、削減に努めること等から、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回る見込みです。

一方、第3四半期に新たに特別損失（特許権の減損損失、事業構造改善費用）を36億円計上しました。また、昨年12月に公布された改正法人税法等の影響により税金費用が増加することから、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みです。

これらのことから、平成24年3月期通期連結業績予想を、平成23年10月31日に公表した予想値に対し、営業利益は20億円増の220億円、経常利益は30億円増の220億円、当期純利益は20億円減の100億円に修正いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,938	9,737
受取手形及び売掛金	107,803	101,979
有価証券	90,921	93,345
商品及び製品	38,442	41,494
仕掛品	2,388	3,016
原材料及び貯蔵品	15,140	13,853
繰延税金資産	33,489	31,752
短期貸付金	25,000	25,000
その他	4,998	4,730
貸倒引当金	△122	△110
流動資産合計	332,999	324,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	91,227	90,619
減価償却累計額及び減損損失累計額	△49,497	△50,206
建物及び構築物(純額)	41,730	40,413
機械装置及び運搬具	77,089	77,043
減価償却累計額及び減損損失累計額	△65,030	△66,642
機械装置及び運搬具(純額)	12,058	10,400
土地	10,291	10,244
建設仮勘定	941	1,351
その他	27,529	27,890
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,758	△23,462
その他(純額)	4,771	4,428
有形固定資産合計	69,793	66,839
無形固定資産		
のれん	70,369	64,300
特許権	60,984	37,810
その他	11,912	10,770
無形固定資産合計	143,266	112,881
投資その他の資産		
投資有価証券	27,922	26,861
繰延税金資産	7,023	13,648
その他	8,961	9,208
貸倒引当金	△99	△54
投資その他の資産合計	43,807	49,663
固定資産合計	256,868	229,384
資産合計	589,868	554,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,647	17,737
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	10,600	10,000
未払法人税等	7,678	8,714
賞与引当金	7,431	3,942
返品調整引当金	2,289	3,140
売上割戻引当金	15,875	17,685
その他	47,681	40,686
流動負債合計	157,203	101,906
固定負債		
社債	50,000	70,000
長期借入金	43,000	50,500
退職給付引当金	10,266	10,755
その他	5,414	5,024
固定負債合計	108,680	136,279
負債合計	265,884	238,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	304,186	307,307
自己株式	△648	△649
株主資本合計	341,798	344,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,413	5,705
為替換算調整勘定	△23,228	△34,626
その他の包括利益累計額合計	△17,814	△28,921
純資産合計	323,983	315,997
負債純資産合計	589,868	554,184

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	280,805	265,203
売上原価	83,764	73,967
売上総利益	197,040	191,236
返品調整引当金戻入額	25	—
返品調整引当金繰入額	—	13
差引売上総利益	197,066	191,222
販売費及び一般管理費		
給料	26,126	27,421
賞与引当金繰入額	2,541	2,670
研究開発費	46,330	40,706
その他	95,002	98,098
販売費及び一般管理費合計	170,001	168,897
営業利益	27,064	22,325
営業外収益		
受取利息	381	271
受取配当金	751	674
その他	1,452	1,085
営業外収益合計	2,585	2,031
営業外費用		
支払利息	1,245	863
寄付金	1,048	820
その他	1,162	710
営業外費用合計	3,456	2,395
経常利益	26,193	21,961
特別利益		
固定資産売却益	—	1,240
特別利益合計	—	1,240
特別損失		
減損損失	2,221	2,360
事業構造改善費用	—	1,236
特別損失合計	2,221	3,597
税金等調整前四半期純利益	23,971	19,604
法人税等	9,183	9,331
少数株主損益調整前四半期純利益	14,788	10,273
四半期純利益	14,788	10,273

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,788	10,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,870	292
為替換算調整勘定	△20,806	△11,398
その他の包括利益合計	△22,676	△11,106
四半期包括利益	△7,887	△833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,887	△833
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本(医薬)	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	153,639	88,474	4,078	246,192	34,613	280,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,995	3,368	489	8,852	36	8,889
計	158,635	91,842	4,567	255,045	34,649	289,694
セグメント利益又は損失(△)	31,926	△4,946	1,194	28,173	1,638	29,812

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品添加物、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	28,173
「その他」の区分の利益	1,638
セグメント間取引消去	△2,747
四半期連結損益計算書の営業利益	27,064

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米国」セグメントにおいて、特許権の一部について減損損失を計上しました。

将来の収益性がないと判断した特許権について回収可能性を零と評価し、未償却残高2,221百万円を減損損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	139,133	79,751	4,775	11,289	234,949	30,253	265,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	164	—	—	—	164	63	228
計	139,298	79,751	4,775	11,289	235,114	30,317	265,431
セグメント利益又は損失(△)	54,476	△191	916	5,322	60,523	2,479	63,003

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	60,523
「その他」の区分の利益	2,479
研究開発費(注)	△40,706
セグメント間取引消去	28
四半期連結損益計算書の営業利益	22,325

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、日本、北米、中国等マーケット毎の医薬品事業の業績管理を強化する目的でグループ内の損益管理区分を変更したことに伴い、報告セグメントの区分方法を従来の日本(医薬)、米国、中国の3区分から、日本、北米、中国、海外その他の4区分に変更しております。これにより、従来日本(医薬)セグメントに含めておりました当社の海外向け取引にかかる業績は、北米、中国、海外その他の各セグメントに含めております。

また、第1四半期連結会計期間から、研究開発費をグローバルに管理しているため各セグメントに配分を行っていません。これにより、セグメント利益を従来の営業利益ベースから、研究開発費控除前の営業利益ベースへと変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	139,851	88,474	4,237	13,628	246,192	34,613	280,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	—	—	—	119	36	155
計	139,971	88,474	4,237	13,628	246,312	34,649	280,961
セグメント利益	54,421	8,045	1,432	7,271	71,170	2,206	73,377

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品添加物、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

また、報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	71,170
「その他」の区分の利益	2,206
研究開発費	△46,330
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	27,064

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、特許権の一部について減損損失を計上しました。
将来の収益性がないと判断した特許権について回収可能性を評価し、2,360百万円を減損損失に計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。